

【広報発表】

2011年4月21日

## 東日本大震災における堆積汚泥の化学性状について

廃棄物資源循環学会では、震災直後の3月18日に「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」を設置し、対策や復興に向けて、様々な活動を行っています。

その一環として、津波被害の典型的な課題対象と考えられる「堆積汚泥（現地では、ヘドロなどとも呼ばれる）」について、その分別・処理方策立案に向けた知見を得るために、化学性状調査を進めてきました。その結果が得られましたので、今後の課題とあわせて、ご報告させていただきます。

【資料】

- ・ 仙台市内で採取された災害汚泥試料の化学性状について（簡略版）  
20110421
- ・ 仙台市内で採取された災害汚泥試料の化学性状について 20110421
- ・ 廃棄物資源循環学会 / 「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」：  
<http://eprc.kyoto-u.ac.jp/saigai/>



【本件に関するお問い合わせ（学会タスクチーム広報担当）】

吉岡敏明（東北大学教授）：090-7793-8080

浅利美鈴（京都大学助教）：090-3166-3082

原 雄（学会事務局長）：03-3769-5099

メールの場合は、[saigai@jsmcwm.or.jp](mailto:saigai@jsmcwm.or.jp) へ